



OH-YABU NEWS LETTER

VOL.27 2022. 冬
株式会社 大藪組

文にあたる 牟田郁子

出回る大量の印刷物において、人目に触れることなく、陰から主を支え続ける校正業務。誤植というプレッシャーに本気で挑む日々を軽めのショートエッセイにしている点がなかなかキャッチーで、我々広報の参考として拝読いたしました。どんなふうに綴ると読み手を楽しませることができるだろうか。脱マンネリ。こんなことから日々業務へ小さなインスパイアを得ています。夏にチクゴニュースというコラム記事をホームページでこっそりと発信し始めました。地元の法人さんを建設会社の視点で追いかけるのが大粋の目的ですが、スロースタートの目下、まだまだ更新頻度低めで慣らし運転というところ。来年はチクゴニュースを存分に活発発信していきたい目標です。2023年。紙もデジタルも欠かせない時代の中精進を重ねて参りますので、多様な取材のオファーをぜひともお待ちしております。メディア広報企画課



こんにちは、大藪組です。秋の気候が長期的に安定して心地よかったため、冬の足音が聞こえずにいましたが、12月に入り一気に冬の到来です。気が付けば2023年はすぐそこ。年の瀬のご準備お忘れなく！さてその心地よい秋時節に手にしたこちら。校正を担う方のお仕事本。

～工事の現場から～ file#24



現場代理人 かわた こうき
監理技術者 河田 昂希 さん (1級建築施工管理技士)



- 工事名：東峰村ほうしゅ楽舎建築工事
- 工期：2022年7月11日～2023年3月15日

今回ご紹介するのは、2017年7月の九州北部豪雨で壊滅的な被害を受けた、朝倉郡東峰村のふれあい宿泊施設「ほうしゅ楽舎」の再建。観光交流と防災の拠点をあわせた複合施設として帰ってきます。外観は廃校舎を利用して運営されていた以前の面影も残しつつ完成する予定。



担当は入社10年目の河田氏。今までは鉄骨造や鉄筋コンクリート造の建物を担当していたので実は木造は初めて。大工さんや先輩社員たちと意見交換をしながら工事を進めています。「初の木造で違う所はある？」と尋ねると「^{しゃくすん}尺寸での会話を中心で、なかなか慣れない。」とのこと。【1尺=30.3cm、1寸=3.03cm】建築の図面には主にmmが用いられますが、特に木造では昔ながらの尺や寸での会話は日常茶飯事。材料自体も、例えばベニヤ板が3尺×6尺などといったサイズで出来ていたり。会話の最中に頭の中で高速電卓が働いていることでしょう。現場自体は敷地の高低差があるので、材料の搬入や仮設計画などを慎重に行っているそう。一緒に担当している新入社員の本川氏について聞いてみると「休憩時間などにも大工さんたちと笑顔で世間話をしたり、コミュニケーション能力が高い所が強み。」とのこと。本人も「職人さんたちと話すのは楽しいです！」と笑顔で答えてくれました。工事の現場ではやはり人と人とのコミュニケーションが大切。今後もがんばってもらいたいものです。山間の現場ならではの、雪対策が今後の課題。虫が多いのも困りものなようです。地域のみなさまが心待ちにされている施設。竣工までしっかり、ご安全に！



OH-YABU 人 おーやぶじん file.27

今回は建築部所属の大藪組野球部監督の登場。時に厳しく、時に笑いを提供してくれる存在。

さとう のりゆき
佐藤 寛幸 さん



- 愛称 のり のりちゃん
- 生年月日 昭和48年12月12日
- 入社年月 平成17年4月
- 出身 大牟田市
- 資格 1級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士
- 座右の銘 風林火山
- 尊敬する人 建築部 松藤部長

- 趣味・特技 スキューバダイビング(アドバンスダイバー：水深30mまで潜水可)
- 休日は? Netflix・Amazon プライム
- 自己PRをどうぞ!

沖縄や奄美大島のきれいな海でのダイビングに癒されました。色々な場所のきれいな海に潜りに行きたいので、ダイビングのパディを募集中です!

現在の現場では若者二人の指導に毎日奮闘中。仕事に対しては厳しく、取材の日も工程管理について熱い指導が。仕事以外にできれば後輩を可愛がる、優しい先輩社員です。

スッポンの生態

第3回になりました。今回も生物部からスッポンの生態をお届けします。会社の裏口で飼育されているこの3匹は2022年も無事、健康に過ごすことができました。冬は活動が鈍くなり半分冬眠のような状態になりますが、日差しが強い暖かい日にはもぞもぞと動く様子も見られます。寒くなるにつれて食べるご飯の量も減少し心配になりますが、春を迎えると首をのぼして水面の小エビをつつくようになります。現在の飼育環境は、1匹ずつ衣装ケース内で暮らしていますが、最近大型水槽を頂きましたので引っ越しも検討中です。砂に潜れるようにしてあげたいなと思っています。



いってみよ！ タナカ商事 様

今回やってきたのは三潯郡大木町のタナカ商事様。作業服や家庭衣料品などの小売業を営まれています。わが社で素敵な店舗を新築させていただき、9月に移転オープンされました。

お店は平屋で渋黒外観。自動ドアを入るとお洒落な内装のなか、たくさん商品が所せましと並んでいます。外にはテントも建ち、お客さんの出入りも次から次へと盛んな様子。我々も取材のつもりが、気が付くと真剣に物色していました。つまり商品が豊富で見て楽しいのです！これは自分好みのぴったりにアイテムが絶対に見つかりそう。(☞楽天Webショップもあります！)

写真は田中社長。社長自らエネルギーに接客一番で毎日店頭で立つ日々。顧客の満足度とオリジナルコーデ感を追求し、日々のワークウェアを楽しんでもらいたい。路面のチェーン店では提供できない、きめ細やかでスピーディな対応をモットーに日々邁進されています。個人客だけでなく、法人やチーム向けご提案もどんと来い！待ち時間のあいだにロゴ案を作るなど、パワフルサービスで即対応されています。今後は田園豊かなこの筑後エリアで、家庭菜園や農業従事者向けの商品も展開してみたいとのこと。地域に根ざしたこれからの商品展開に注目です。わいわい気軽にいってみよう！



- 有限会社タナカ商事様 ●所在地 福岡県三潯郡大木町横溝113-1
- 営業時間 平日9:00～19:00 日曜10:00～19:00
- 祝日10:00～18:00 (不定休) ●TEL 0944-32-0026



筑後広域公園にぶらりぶ！

みなさんきっと名前をご存知の「筑後広域公園」ですが、どんな公園なのか知っていますか？検索してみると、公式サイトがトップに出てきます。概要を見てみると東西4キロに渡り、完成すれば福岡県で一番大きい公園になるのだとか。どうやらこれからも発展し続ける公園のようです！そんな筑後広域公園に弊社大藪組で「アートモニュメント」を施工させていただいたご縁もあり、今回は公園の豊かさを体験しに行ってみました！物産館そばの付近の芝生広場は野外ステージや遊具もあり、平日昼間もお子様連れで来られている方がちらほら。筑後船小屋駅側にあるエリアは、大きな池がいくつもあり鴨や鯉の姿が見られそれぞれに橋がかかっています。枝垂れ柳が並ぶ道は散歩にぴったりです。その奥を進むとカーボンハットが三つ構えています。(実は右の写真奥に見えます。)高い建物もなく辺り一面開けた空間で、茶畑とお花が迎えてくれます。広域の名の通り、端から端まで堪能すると丸一日過ぎせます！ピクニックにぜひ！

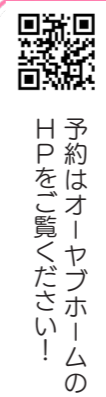


道は散歩にぴったりです。その奥を進むとカーボンハットが三つ構えています。(実は右の写真奥に見えます。)高い建物もなく辺り一面開けた空間で、茶畑とお花が迎えてくれます。広域の名の通り、端から端まで堪能すると丸一日過ぎせます！ピクニックにぜひ！



営業不在!? 無人の分譲住宅が完成!

八女市室岡にある大型分譲地「ひなタウン室岡」で現在販売中の分譲住宅では8月にイベントを開催したり、YouTubeやInstagramでルームツアーを公開したりと色々なお知らせをしてきました。その分譲住宅2棟で、なんとスタッフ不在の無人でも見学できる設備が入りました。「営業スタッフと一緒にだと気になる」「マイペースに見て回りたい」と、思っている方におすすめです。詳しい内容や仕組みなどは「オーヤブホーム」のHPをご覧ください。



予約はオーヤブホームのHPをご覧ください！

好評販売中!

2棟同時見学OK!!



雑談泡 編集後記

Zatsudan Hour
「間違えたらしくて恐ろしく有益な本もあれば、どこも間違えがなくてそうしてただ間違っていないというだけの事以外に何の取り柄もないと思われる本もある」
冒頭ご挨拶で紹介した「文にあたる」牟田郁子著に引用されていた、物理学者寺田寅彦氏による随筆のワンフレーズ。この本「文にあたる」に出会い、校正の仕事垣間見るうちに、文章を書くことが怖くなった私。綴れば即ち何もかも間違っているのではないか。都度辞書をめくるけど、その辞書すらも30年前のものという笑える事態。そんな我々に捧げるこのひとこと。はい、我々下手の横好き軍団は、ただユーモアで有益なことをお届けしたい。その所存で居る、ひたすらに。次号もお楽しみに。

〒833-0005 筑後市長浜 2043番地の1
☎0942-53-2151 YouTubeもご覧ください!

